



# 油断のなげない 女性について

数年前私が大病で入院している間、妻は心  
をかりワiproを習った。夫が半身不随にな  
ってもし口述筆記の役に立ちたいと思ったらしい。  
死ぬまで私をこまつかうつもりかと、そのと  
きは愕然とした。だが全快後、妻の指導でワ  
iproも練習したところ、きわめて能率的だ  
と分りもっぱら愛用している。

妻はワiproのみならず、家庭内の電化に  
は進歩的かつ意欲的で、新製品も蓄用に使  
こなすし修理なども自分でやってしまう。亭  
主清白として任じる私もメカニズムにはす  
こぶるぬいので、一歩譲らざるを得ないのが  
何とも癢である。

その妻が最近目をつけているのが、評判の  
ホームコントロールシステムである。あれは  
すべてのスイッチを一つ所に集中するばかり  
か、外出先のパッシェホンでもその操作が  
出来るというのだから恐れ入るしめない。

心配なのは仮眠中に外から目覚まし時計も  
鳴らしたり、ワiproも起動させて仕事を強  
いたり休しなにかということである。私はロ  
ボットではないのだから、そのへんも妻に厳  
重に申し渡しておかねばなるまい。

ジェームズ・スミット